

# さくら

編集・発行 2019年3月8日  
神河中学校 PTA文化・研修部

神河中学校 8回生のみなさん

卒業おめでとうございます！

～合唱コンクール～



～オリンピアン講演会～



～1年生 スキー実習～



～2年生 スキー実習～



～三送会～



## 一年を振りかえって

PTA副会長 立岩 みや

この間中学校に入学した娘も二年生になりました。今年度は地区の役員になることは分かっていました。ブロックでの話で本部役員に選ばれました。私にこんな大役が出来るのか不安でスタートしました。人前で話すのが苦手で、役員会での司会は毎回緊張していましたが、どうにか出来ました。でも、本部役員をさせて頂いたおかげで学校に行くことも増え、授業や部活を見る事ができ、家で見ることのない、楽しく学校生活を送っていてくれている娘を見て嬉しく思いました。四月から娘も三年生になります。部活に勉強に大変な一年になると思いますが、一杯いろんな事を経験していって欲しいと思います。楽しい一年にして欲しいです。部活では地区の行事に参加させて頂き人前で曲の紹介をしている娘を見て、人見知りやったのにとビックリしました。ありがとうございました。

後になりましたが、今年度お世話になりました本部役員の皆様、各地区の役員様、そして校長先生をはじめ諸先生方には色々とご迷惑をおかけしました。皆さんのお助けがあり、一年を終えることができました。本当にありがとうございました。感謝申し上げます。



## 君たちに伝えたいこと

神河中学校長 楠田 敏彦

神河中学校8回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、私が校長としてこの神河中学校に赴任したと同時に入学してきた学年なのでとても印象深いです。最後の体育大会で各連合を率いて見事な応援合戦を創りあげた頼もしい君たち、土曜講座に30名以上の生徒が参加し、しっかりと自分自身と向き合える頑張り屋の君たち、ユース教室にいる仲間のために毎日給食を運んでくれる優しい心遣いのできる君たち、こんなにも明るく、こんなにも素直で、こんなにも優しい心を持った生徒達に出会えたことは、私にとって何物にも代え難い本当に大きな財産です。

皆さんが卒業するに当たって私からひとつお願いをしておきます。それは「常に学び続ける姿勢を持ち続ける」ということです。人生に学びの終わりはありません。幾つになっても学びは続きます。一生学び続けてこそ人は人になれるのだと思います。以前、学校通信で「人は何のために学ぶのか」という記事を書きました。それは、人は、より強い自分になるために学ぶのです。その理由のひとつは、人としての在り方やものの見方、考え方など正しい知識をたくさん蓄えている人ほど自分に自信が持て、精神的に不安になることが少ないのであります。もう一つには、人が人の中で人として生きていくには、無知や間違った考えは許されないということです。人にはみんな必ず差別心（自分はあの人よりもという考え方や、自分さえ良ければいいという考え方）があり、これらは放っておくと自分の知らない間にどんどん大きくなってしまう、知らず知らずのうちに人を傷つけてしまうのです。知らなかつたでは済ません。そんなつもりじゃなかったといつても後の祭りです。だから、自分が人として少しでも差別しない、或いは差別されない生き方をするには、常に人権や差別について学び続

け、自分の生き方や考え方を省みることがとても重要になってくるのです。

今ふり返ってみると皆さんの中学校生活は正に「明るく、楽しく、伸び伸びと」を体現するものであり、とてもきらきらと輝いていました。4月からは皆それぞれ違った場所で活躍することと思います。皆さんの今後の人生において、楽しく嬉しいことよりも、辛く厳しいことのほうが多いと思います。しかし、この神河中で培った生き方の基礎を活かして、今後の人生の如何なる場面でも、生き生きと輝き続けて欲しいと願っています。皆さんとの3年間は本当に楽しいものでした。ありがとうございます。そして、さようなら。



## 1年間を振りかえって

母親代表 井上 千江

今年度、本部役員としてPTA活動に参加させていただきました。交通安全運動、夏祭り巡回補導、奉仕作業などに活動させていただいて、今まで知らなかった事に気づくことが多くありました。子供たちのために何事にも熱心に取り組んでおられる先生方、温かく見守ってくださっている地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。子供たちが、より良い環境の中で学校生活を送ることができるのは、皆様のご協力があるからなのだと改めて実感しました。

一年間を振り返って、体育大会ではどの学年も優勝を目指して、競技に熱くなっていたのが伝わってきました。合唱コンクールでは指揮者を中心に子供たちの素晴らしい歌声とピアノ伴奏が、心に残りとても感動しました。

この一年間、最初は何をすればよいのか不安ばかりでしたが、先生方に指導していただき、充実した一年を送ることができました。いろいろな経験と、たくさんの方々との交流も深めることができ、貴重な時間を過ごさせていただきました。最後にPTA本部役員の皆様、校長先生をはじめ教職員の皆様、一年間お世話になりました。本当にありがとうございました。



## 至誠 慄 怖

第2学年主任 上月 里香

今年度、学年主任という立場になりました。この歳まで担任として突っ走ってきた私には、当初、自分のクラスがないということの寂しさしかありませんでした。しかし、いざ主任の仕事をしてみると、今までどれだけ助けてもらっていたのに気づきました。担任が働きやすいように準備してくださっていたこと。トライやるや校外学習等、学校外との詳細な打ち合わせ。陰でどれだけ支えてもらっていたのかと感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして、今与えられている立場をしっかりとやりこなさなければと思いました。

生徒達も一緒です。たくさんの行事、日々の学校生活の中で多くの人に支えられています。行事の時に前に出て引っ張ってくれる生徒、陰で準備をしてくれる生徒、汚れた教室を黙って雑巾がけしてくれる生徒。家庭では、わがままを言っても優しく包んでくださるお家の方、間違ったことをしたときに厳しくしかるお家の方。しかし、そのような状況を感じ取る心が育っていないければ、支えてもらっていることに気づくことはできません。残念ながら、今の世の中には自分に都合の良いように考へ、感情をあらわにする人が多くいます。

## 『至誠惻怛（しせいそくだつ）』

幕末の陽明学者の山田方谷さんが説いた言葉です。この方の素性や陽明学については勉強不足ですが、言葉の意味の深さに感銘を受けました。「まごころといたみ悲しむ心があれば、やさしくなれます。そして、目上にはまことを尽くし、目下にはいつくしみをもって接するのです。心の持ち方をこうすれば物事をうまく運ぶことができると言います。つまり、この気持ちで生きることが、人としての基本であり、正しい道なのです。」と説いています。人のために働くこと、何かをすることは決してその人のためだけではなく、必ず自分自身の生きる原動力になるということです。

このような考え方の下、皆が生活できたなら学校生活も家庭生活もきっと優しく、温かい雰囲気であふれるのではないかと思います。神河中学校にそして皆さんのお家庭に温かな空気が流れるように、私自身も自己を振り返り、「至誠惻怛」を実践していくかなければと思います。



## オリンピアン講演会を聞きました。

10月3日（水）オリンピック・パラリンピックムーブメント展開事業の一環で、県ゆかりのオリンピック・パラリンピック選手等の経験に触ることを目的として、オリンピアン講演会が行われました。

講師は、北京オリンピック陸上5000m・10000m代表の竹澤健介さんでした。



## 3年生

今日のお話は全て今の私の受験勉強のやり方の参考になり、とても印象に残ったし自分の今の勉強方法やそれに対する気持ちと比較しながらお話を聞けました。その中でも、いくつか印象に残ったものがあります。

1つ目は高すぎない目標を立てて、身近なことから達成できるよう計画を立てることです。思い返すと、私は今回のテスト計画と実行できたものにはかなりの差があり、テストの点も目標より低くがっかりてしまいました。けれども、目標の点もテスト計画も今の私には高すぎる目標だったのではと、この話を聞いて思いました。高校合格という高い目標をいきなり目指すのではなく、定期テスト〇〇点以上という中くらいの目標、そしてそれを達成するための1日〇時間勉強という小さな目標を、毎日達成できるようにしようと思いました。

2つ目に印象に残ったのは、自分の気持ちを認めてあげることが大切ということです。できなかった日は「もっと頑張らな。」と思いますが、思うだけでなく行動に移すことで、先程述べた小さな目標を達成することにつながると思いました。

他にも、今日のお話は、今の私のためになることばかりでした。今回のお話を聞いて感じたこと、また改善しようと思ったことはこれから的生活・受験勉強に生かそうと思います。



## 2年生



竹澤さんの話で私が一番おどろいたことは、竹澤さんは最初はオリンピックにでることが夢ではなかったことです。

しかも、小学生の頃は水泳に夢中だったそうで、陸上を始めたのは中学生からだそうです。その陸上も練習がつまらなくて最初はあまり好きではなかったそうですが、何か成功することで好きになっていったそうです。

私は今テニスであまり上手くいかなくて、家で色々調べたりしてもどんどん自信がなくなっていくだけでした。でも、竹澤さんはそんな時でもやっぱり、自分に自信を持って今やれることをせいいっぱいするといいと言われていたので、私もまた自分に自信をもって努力していくようにしたいです。

もうすぐでテニスは大会があります。その時も落ち込んでしまうことがあると思うけど、その分いっぱい声をだしてペアとはげましあったりして自分らしいプレーができるようにがんばりたいです。



## 1年生



僕には、ロボットの研究者になりたいという夢があります。僕は今まで、「なりたい。なりたい。」と思っているだけでした。でも、竹澤さんの「夢を叶えるために」のお話を聞いて、こつこつ夢に向かって努力しようと思うことができました。「ただ、なりたいと思うだけではなれない。」僕にはその言葉がとても胸に刺さりました。他にも、「小さな目標を積み重ねていくこと」や「いろんな人と付き合っていくこと」、「悪いときもいいときが訪れる信じて前向きに努力すること」の大切さを感じることができました。これから自分の夢を叶えるための大きなヒントを得ることができました。夢を追いかけて頑張ります。

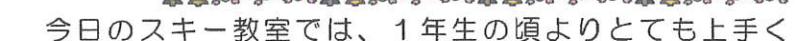


## 1年生の校外学習 スキー実習 & 2年生スキー実習



## 2年生感想

2年生は1月31日に峰山高原にスキー実習に行きました。吹雪の中ででしたが、新雪の中で大いに楽しむことが出来ました。1年生は2月26、27日にハチ高原へスキー実習にいきました。初めての宿泊を兼ねた校外学習でした。天候にも恵まれ、大きな事故や問題もなく、無事に1泊2日の行程を終えることができました。



今日のスキー教室では、1年生の頃よりも上手くなったと思いました。あんまりスキーは上手じゃなかつたけど、今日、また一から教えてもらってスピードの出

し方や、急な坂のくだり方などをしっかりできました。天気が少し悪くて、雪がたくさん降っている中で滑ったのでとても顔が痛かったけど、たくさん滑れて良かったです。リフトにもスムーズに乗れたし、スムーズに下まで降りられたので良かったです。近くに新しいスキー場ができて、初めて行ったけど、色々なコースがあってとても楽しかったし、みんなでたくさん滑れてとても良かったと思いました。誰かがこけたときは、みんなで協力し合って助けてあげたり、班全員で楽しく滑れました。



今年初のスキーはすごく楽しかったけど疲れました。イエロー班は何回もリフトで上がって滑りました。急なところでスピードを上げておかないと、リフト乗り場の近くは平坦で止まってしまって、ストックでかきながら進まないといけないので、腕がキツかったです。雪がすごい降っていてゴーグルをしていたらくもってしまうので、付けていなかったら雪が目に入ってきて痛かったです。最初はハの字で急なところを降りていたけれど、最後の方は板を平行にして滑れて良かったです。お昼のカレーは3杯食べました。すごく辛かったけど、おいしかったです。ウェア・手袋がべしょ濡れで、手が冷たかったです。リフトからストックを落としそうで怖かったです。(笑) 寒かったですけど1年ぶりにみんなでスキーができる乐しかったです。



初めてのスキーで、1回滑るだけで2・3回こけました。雪の量が想像以上で最後の方はもう前を見ることが大変でした。顔も雪がたくさん当たって痛かったです。リフトに慣れるまでは上手に降りることができませんでしたが、2回くらい乗るとスムーズに乗ることができました。滑るのも自分で左右に動く事ができたり、やったことがなかった私には、上達がすごく嬉しかったです。ブレーキをかけるのも難しくて、何度も前に人にぶつかってしまいました。急な斜面を滑るときは、人が滑っているのを見ているより、速く感じるので少し怖かったです。でも、滑れると達成感があり、乐しかったです。もっと上手になつたら上級者向けのコースでも面白くなると思うので、ちょっとずつでも上達したいです。

### 1年生感想

約1年ぶりにスキーをしたので、うまくすべれるか不安だったけど、インストラクターさんが優しく教えてくださったおかげで、安全に楽しくすべることができました。1日目の夜にあったレクリエーションでは、私は運が強い人として出たのですが、自分の番がきたときに、友達が「がんばれー！！」と応援してくれのがうれしかったです。自分たちの部屋にいる時も、みんなと楽しく会話したり、テレビを見たりと、とても楽しくすごせました。本当に楽しい2日間でした。



スキーは、あまりできないので、好きじゃなかったけど、今回のスキー実習で少し滑ることができたので乐しかったです。部屋の班も楽しかったし、実習班も楽しかったので良かったです。レクもみんなが楽しくやっていましたし、見ていてとても乐しかったです。レクをした人は、すごい勇気がいるだらなあと思いました。今回スキー実習をして、また家族でスキーに行きたいと思いました。



最初は行きたくないという気持ちもあったけれど、終わってみると、あともう1泊したかったと思うくらい乐しかったです。腹筋が割れるくらい笑ったレク、最初はできなかっただけどだんだん滑れるようになったスキー、雪遊びの時間にしたそり滑り、みんなで食べたご飯、友だちといろんな話をした部屋での自由時間、すべてが乐しくて最高の思い出になりました。また、こんな経験をしたいなと思いました。



### 三送会が行われました！

### 2年生

三送会は出し物の係だったので、すごく緊張しました。最初は他の出し物の子たちがすごすぎて、私たちの演奏だと先輩たちは果たして喜んでくれるのだろうかと不安になってしまいました。でも、三送会が終わった後「うまくなつたねー。よかったですよー。」と言ってくれました。すごくうれしかったです。私たちは頑張ったと思ってすごく満足していました。でも、頑張ったのは私たち出し物の係だけでなく、モニュメントを作ってくれた人たち、裏でずっと見守ってくれた生徒会の人たちでした。ビデオレターを見ているとき、先輩たちは感動してくれているのかなあと思いました。三送会で先輩たちが退場しているとき、これが終われば先輩とお別れか…寂しく思いました。三送会を終えてやり切ったという達成感がありました、少し悲しい気もしました。でも先輩たちが高校を楽しく過ごせるように応援したいです。三送会を終えてホッとしたけれど、次は卒業式なので卒業式に力を入れて、先輩たちに気持ちよく卒業してもらいたいです。なので、卒業式の歌も先輩が喜ぶ、感動するような歌を歌いたいです。

3送会が終わって、まず思うのは、やっと終わったという安堵の気持ちと、ダンスを踊るのが乐しかったということです。僕はダンスチームのリーダーとして自分が一人で練習するのではなく、メンバーの子達に教えるという立場だから、振り付けも自分の分だけでなく、他の人のところも覚えないといけないから、土日の半日は全てメンバーに教えたり、夜中まで自分の振り付けと他のメンバーの分両方を練習したりしました。それが原因で怒られることもありましたが、とてもやりがいがあって樂しいステージでした。他の出し物の人も自分の時間を削って「3年生を笑顔にする！」という思いでやっているんだろうなと思いました。みんな一生懸命に練習して、完璧にできた人もいれば、失敗した人もいるけど、僕たちにとっても、見ている人たちにとっても思い出に残る3送会だったと思います。

3年生を送る会を終えて、今一番に思うことは、3年生が「この送る会は良かったな。」と思ってくれたことです。私はモニュメントの係をしていて、みんなが塗ってくれた紙を順番にはり付けていきました。1枚の紙が大きくなればなるほど、はり付ける時にゆがんだり、ずれたりしていないかをよく確認しないといけなくて、大変でしたが、良い感じに完成したので良かったです。ダンスやお笑いも、みんなが休みの日を使って練習したから間違えずにできたんだと思います。生徒会や先生方が何ヶ月も前から準備をはじめていてくれたから、昨日までにしないといけないことがちゃんと終わって、3送会を成功させることができたんだと思います。

## 1年生

僕は、1年生で初めての3送会で、とても盛り上がったので楽しかったです。2年生の生徒会の人が進行していたので、来年は僕たちがするんだなあと思いました。1番おもしろかったのは、細岡君と五島君のレミオロメンの粉雪です。衣装も似ていて、とても本格的だなあと思いました。2人が歌っているときはとても大爆笑でした。3送会の出し物で、1番うけていたと思います。3年生を1年生からふり返るDVDは映像で40分あったので、3年間でとてもたくさんの映像があり、とてもすごいなあと思いました。来年は僕たちも2年生になり、中心になって進行していくなければいけないので頑張りたいです。

初めて、自分達が作った葛飾北斎の絵を見てすごくびっくりしました。まさかみんなにすごい絵ができるとは思っていませんでした。初めての三送会で、どういうものなのか気になっていたけれど、先輩の人達とかがおもしろい出し物をたくさんやってくれたので、すごくおもしろかったです。生徒会の人達とかがたくさん考えて、練習してくれたので成功したんだなと思いました。歌の練習も、最初の頃は、あまり声が出なくて、先生に怒られたこともあったけれど、三送会の本番では、満足いく歌声だったので良かったと思いました。出し物では、1年生の子もスキーのレクリエーションでやっていたことを三送会でやっていたのでおもしろかったです。3年生の先輩達も喜んでいたので良かったと思いました。私達も2年生になったら先輩方に喜んでもらえるように頑張りたいです。昨日の三送会は本当に成功して良かったなと思いました。来年も頑張りたいです。

3送会を準備した2年生はすごいと思いました。来年は僕たちが中心となって運営しないといけないので、頑張らなければと思いました。モニュメントは、自分たちで1枚1枚作ったものを大量に組みあわせて完成させ、すごい迫力でした。出し物もおもしろかったです。僕は、前には出なかったけれど、自分の席で、拍手などできることをして、協力できたかなと思います。歌を歌っているとき、泣いている3年生の姿を見て、今回の目標である「3年生を感動させる」ことができたのでうれしかったです。

## 3年生より

今日は私たちに素晴らしい三送会をありがとうございました。ダンスはキッレキッレで、とても楽しい時間を過ごせました。最後の歌はとても上手で感動しました。私たちのためにたくさん練習してくれてありがとうございます。この三送会は一生の思い出です。

今日は本当に素晴らしい三送会をありがとうございました。ダンスも漫才も先生達の出し物も、思い出ビデオも全部よかったです。特に思い出ビデオでは、3年間振り返ることができ、すごく感動しました。今日は3年生のために、素晴らしい三送会を本当にありがとうございました。

今日は素晴らしい三送会をありがとうございました。おかげで3年間の思い出を振り返ることができます。あなた方は、2・3年生になるので、この神河中学校をよろしくお願いします。

素敵な三送会をありがとうございました。めっちゃ楽しませてもらいました。部活では引っ張っていかなかん私たちの方が、助けてもらったり、励ましてもらったりして、いい後輩をもったなあと思います。3年間アツという間なので、色々な事に挑戦して頑張ってください。応援しています。

1・2年生のみなさん、楽しい三送会をありがとうございました。ずっと楽しみにしていた三送会。しかし、その楽しみを遙かに上まわるもので、最高の思い出です。今日の三送会のように、自分たちはやればできるという気持ちを持って、これからも勉強に部活動に頑張ってください。

One for all,  
all for one !

私たちのためにしてきな三送会をしてくれてありがとうございます。特に三年生アンケートは、いい思い出になりました。とてもおもしろかったです。これからも神河中学校をよろしく！！



## 文化・研修部のみなさん



### この1年を振り返って

宮本 学

さて、この1年を振り返って印象に残った事を少し。運動会。男子の組体操がなくなりました。自主性を出そうという試みから、生徒が競技を考案するという事になりました。時代の流れを感じました。次に合唱コンクール。とても頑張っているという印象を受けました。しかし、1年生をみると、各クラスの人数が少ないなと思いました。今後少子化の影響も出てくるのであろうと思いますが、頑張って継続して欲しいです。次は中学校の役員決めについて。保護者の負担を軽減すべく、理事の人数を減らそうという事になりました。以前からそのような話を聞いていましたが、いよいよその時が来たのだなと思いました。各地域の子供の人数が減少して、小学校の理事に關しても、今後そのような話が出てくるのではないかと思います。これも時代の流れかなとは思いますが、子供たちのために大人も頑張らなければいけないなと思います。簡素化する事はいい事かもしれません、楽をしようという考え方だけではいけないような気もします。ただ、過去の事に固執しすぎてもいけないので、思い切った改革かと思います。

3年生にとっての受験。昔と違って、いろいろ振り回されるような受験システムになったなと思います。学区も変わりましたし、第1希望、第2希望など。高校受験は1回しかないので、とても大変だと思います。ご家族の方の苦労もわかります。精一杯頑張って欲しいと思います。義務教育を終えて、また違った世界に出ていきます。希望していた進路と違っても、そこに進めばそこでしか経験できない良いことがあるかもしれません。人生で考えれば、ほんの数年。あんな事もあったなど、いい思い出になるような時間を過ごしてほしいと思います。

大人になった時、もう少し努力しておけば良かったなど誰もが思います。思わない人もいるかも知れませんが・・・。今が努力をする時です。間に合わないと思う人もいるかと思います。ただ、今だけが努力をする時ではありません。今から、若い時に努力して、良かったなと思える大人になって欲しいと思います。まだまだ時間はあると思います。皆さん、頑張って下さい。

1年前には、長い1年になるのかな?と思っていましたが、やはり過ぎてみれば、もう1年も経ったのか?といった感じがします。今年度は、小中高と理事を兼務していました。理事の仕事としては、大役にあたっていなかったので、そこまで大変という事はなかったです。1番苦労したのは、ベルマークの仕分けでした。沢山あったので大変でした。ただ、大きな役をされている方の責任の重さから見るとたいした事ではありません。共に理事をしていただきました皆様、教職員の方々、色々と協力していただきましたご家族の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



### 中学生生活を振り返って

渡邊 和世

中学生生活も残り僅かとなり、改めて子供の成長を振り返ってみると、様々な学校行事やクラブ活動をとおして、以前よりも自主性や人との絆の大切さや、何事も諦めず続けていく強さを学んでくれたと感じています。

どんな状況でも悪いと思う事は悪いと言える強い気持ちと、自分の事よりも先に相手の事を思う優しい気持ちで、助け合い支え合う人間関係づくりを、これからも築いて欲しいと思います。私も子供と一緒に、日々成長し続けるよう努めたいと思います。PTA役員として、それぞれの行事に僅かでも関わり、色々な思い出も出来て、とても有意義な一年でした。御多忙の中、今まで御指導御協力下さった先生方、子供共々お世話になり、本当に有り難うございました。



### 1年間を振り返って

岡本 徳親

今年度、中学校で初めて役員をさせていただきました。最初は、不安な気持ちでいっぱいでしたが、周りの役員の方に、ご迷惑をおかけしながら無事に役員を務めることができました。実際に役員を務めることで学校に行く機会が増えました。授業や部活動を見させていただいて、普段家で見る以上の笑顔で学校生活を送っている様子に嬉しく思いました。

その娘も3年生になり、部活動に区切りをつけ受験に向けての勉強に忙しい毎日を送っています。この3年間は楽しいことばかりではなく、辛いこともあります。でも、先生方や周りの友達に支えていただいて、充実した学校生活を送ることができました。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、諸先生方には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



1年間ありがとうございました。

